

# 一般質問発言通告書

発言順位 14番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和6年6月11日

三島市議会議長 堀江和雄様

三島市議会議員 7番 石井真人

質問事項1	伊豆ファン倶楽部のこれまでの経過と今後の方針
具体的内容	伊豆ファン倶楽部について、本年2月15日よりサービスが開始され、本年度は、事業費9,000万円として既に2か月が経つ中で、これまでの経過と今後の方針について伺う。
	1 サービス開始から4カ月経過したが、事業進捗についてどのようにとらえているか。アプリの利用率向上のために、早急に加盟店を集め検討会を実施し、加盟店側のニーズの聞き取りと、現状の問題点の洗い出しをして、今後の方針を検討すべきであると考えているかがか。
	2 観光型ふるさと納税寄附システム「ふるさとGO」の仕組みであるサービス業の役務の返礼と連携するなど、サービスに付加価値をつけて利用率向上を図ってはどうか。
質問事項2	事務事業評価（行政評価）と生成AIを用いた業務効率向上の可能性
具体的内容	本年度、事業評価AIの構築や市の業務に生成AIを活用するにあたり、既存の事務事業評価（行政評価）の状況及び、今後の生成AIの活用について、以下に伺う。
	1 過去（令和3～4年度）の事務事業評価（行政評価）において、スクラップや見直した事業は何か。その際の具体的にどのような判断基準を用いたか。
	2 直轄事業から委託事業への変更後の事務事業評価の検証をどのように行っているか。
	3 AIに学習させる基礎データとして、既存の事務事業評価表のデータには見直しが必要と考えるかがか。他市と同様に各事業を構成する予算・決算の人員費や委託費などの投入費用を明確にし、事業の費用対効果を客観的に判断しやすくする必要があると考えるかがか。
	4 今後、生成AIを用いた場合にスクラップする事業を決める上での判断基準はどうするか。機械に任せるところ、人間が判断する点の範囲をどのように考えるか。
	5 市議会の会議録、予算書・決算書、各種計画、各条例などを生成AIに学習させて、業務の生産性向上に活用してはどうか。まずは、事業分野を限った上で活用することへの検討は。
質問事項3	三島駅南北自由通路の推進に向けて
具体的内容	市民意識調査（令和元年度）で、77.5%の市民が「必要」と回答している三島駅の南北自由通路について、これまでの経過と今後の方針について、以下に伺う。
	1 三島駅南北自由通路推進協議会の平成23年11月24日以降におけるJR東海との協議内容
	2 技術的に極めて困難（ICカードの活用、仕業検査庫の地下掘削、新幹線上空の利用、資材搬入路の活用）という結論から、13年経過しその後の技術進捗をどうとらえるか。
	3 実証実験も兼ねて、再開発工事の横を通る通学生等への安全性への配慮の為にICカードを導入し既存通路を使った南北通行への利用を行ってはどうか。
	4 新知事の発言を受けて三島市として既に対応したのか。今後、周辺市町を含めた静岡県との連携の可能性は。